

平成24年度第9回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成24年11月22日（木） 午前10時
場 所 教育委員会 第一会議室

< 議 事 >

議題27号 平成24年度教育委員会所管12月補正予算(第5号)について

<可決する>

委 員：小型除雪機の配備は大変有難い。4台の除雪機の使い方について伺いたいと思います。

事務局：4台の除雪機の配備については、東部地区の荒谷地区、干布地区、津山地区、山口地区に配備したいと考えております。各町内会、分館単位のニーズがあると思いますので、貸し出しについては、けが、事故、修理等の対応を示した運用基準を作り、実施していきたいと考えています。

議第28号 天童市教育委員会感謝状贈呈について

<可決する>

委 員：感謝状贈呈内規の別表1で、対象校をローテーションで設定していますが今期推薦したい方がいても、対象校が3年後になる場合に、その時点で推薦する行為を行っていないことが推薦できなくなることになるのでしょうか。

事務局：基本的には、遡ってもかまわないと考えています。特別の事情がある場合は、相談させていただきます。

議第29号 天童市立図書館の指定管理者の指定について

議第30号 天童市西沼田遺跡公園の指定管理者の指定について

<可決する>

< 協 議 >

社会教育団体の支援について

社会教育団体の会員や組織率が低下している現状を分析し、今後の課題について検討を行ったものです。

委 員：社会教育団体とは、具体的にどういう団体ですか。

事務局：社会教育法により、学校教育法を除く団体として、大きく婦人会、青壮年会、子供会育成会、PTAの4つを社会教育団体として捉えています。

委 員：昨年、山口地区のまちづくり懇談会で、このままでは婦人会がなくなるという話がありまして、請負的なものでなく、地域に根ざした目的を持った活動をしていくことによって魅力が高まってくるのではないかと話はしましたが、今年のまちづくり懇談会では、婦人会についての考え

をお聞きしたいという話がありました。

大事なことは、請負から脱却していくことが必要ではないかと話をしました。そういう意味で、地域を担う人材づくりが急務であると思うし、「天童未来塾」に期待しながら何らかの手立てを講じていくべきだと考えています。

委員：私も組織が弱体化してきたことを実感しています。地区のレクリエーション大会にしても参加者を集めるのに大変苦労するし、近所を見ても老夫婦2人暮らしとか空き家もあるようになり、世の中の社会状況が変わっていると感じています。どのようにしてご近所力を高めていくかが、まちの課題であると思っています。

委員：干布公民館の館長さんは、干布地区はそういう心配は無い。40年間も四谷小学校との交歓会で育ってきた皆さんであり、各種団体が地域の行事を担当してしっかりやっているので、組織としては問題が無いと話していました。

委員：地域の組織については、年齢の高い方が役職をしていることが多いわけで、40代、50代の次世代への育成が大きな課題ではないかなと思っています。

委員：山口地区は高齢者を除いて、若い人で実行委員会を作ったら、若い人の参加が多くなったと館長が話していました。そういう取り組みも1つの方法だと思います。

委員：部落内の婦人会の交流会はあるのですが、それを組織化しようとする役職の選出をしなければならない。そして、地区の役員に付けば、自動的に市の役員にならなければならない。その義務感を嫌うから組織を抜けますということになるのだらうと思います。別組織を組んで、農協婦人部のような形で活動している例もあります。組織はいやでも交流は拒まないという意識はあるみたいです。

委員：柏木町も町内会役員では、世帯の筆頭者が出てきて、働き手の50代は顔を見ることはありません。筆頭者が退いた時に、町内会のことが何も分からなく、いろいろ疑問を持つため事業をうまくこなせない場合があります、町内会の役員が高齢化でやめた時に誰に引き継ぐか大変な時期に来ていると思います。

委員：明治大学の連携講座について、組織の会の学習に内容があっていないという意見が以前あったのですが、今年度、回数を増やしたわけで、実際増やした内容はどうなっているのですか。

事務局：明治大学の連携講座については、昨年7回から15回に増やしています。この中の3回を婦人会講座として特別に行う予定です。会員を誘いやすいように「香りを楽しむ」とか「笑いを楽しむ」など、あまり難しくない内容にしています。

委員：婦人会へは自分から入る人はいないと思います。この講座にはこれから婦人会に入りたい人も参加出来るのでしょうか。

事務局：ぜひ、これから婦人会へ入る方も誘っていただきたいと思います。

婦人会の無い津山地区、山口地区は公民館報でお知らせして、市報でも会員以外の方も参加できるように周知しております。

委員：婦人会の役員の方に聞くと、地区の役員が市の役員になるのが抵抗あ

るみたいです。役員の部分が負担になっているみたいで、婦人会は楽しい会と若い人が思えるようなものにしていく必要があると思います。

委員：「天童未来塾」の構想について考えているものがありましたらお願いします。

事務局：明治大学との連携講座として人材育成のプログラムを準備しています。1つはリーダーとしての発信力、会話力を身につけることが必要であると考えています。具体的には、グループ討論、プレゼンテーション、パブリックスピーキングなどコミュニケーション力を身につけていただきます。また、組織をどう運営していくか組織論の学習もしていただきます。

委員：講座の期間は、1年でなく数年かけて育成していくのですか。

事務局：30名ぐらい各地区から選抜していただき、また、商工会議所やNPOの団体も入っていただき、4から5講座を2年間に渡って受講して、学んだことを地域に戻って還元していただきたいと考えています。

委員：個人的に学習意欲がある方は結構いると思います。それを組織化という話になった時に、頓挫しないか心配です。

委員：学習の中で組織の大切さを学んでいただくことは必要であると思います。